年間授業計画

高等学校 令和7年度（2学年用） 教科　　数学　　科目 数学B

教　科：　数学　　科　目：　数学B　　単位数：　2　単位

対象学年組：第　2 学年　1 組 ～　6 組

使用教科書：（ 数研出版　NEXT 数学B ）

教科　数学　　の目標：

【 知　識　及　び　技　能 】数学における基本的な概念や原理等を理解し、数学的に解釈し、表現・処理する技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】数学的を活用し事象を考察し、数学的な表現を用いて事象を表現する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】積極的に数学を活用しようとする態度、粘り強く問題に取り組む態度を養う。

科目　　数学B　　の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
数列、統計的な推測について基本的な概念や原理、法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化し、解釈し、数学的に表現、処理したりする技能を身に付けられるようにする。	離散的な変化の規則性、確率分布や標本分布の性質、母集団の傾向の推測、標本調査の方法・結果を考察することを通じて問題解決しようとする態度を身に付けるようにする。	数学の良さを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く柔軟に考え、数学的な根拠をもって判断しようとする態度を身に付けるようにする。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当時数
1学期＋2学期前半	数列 【知識及び技能】 ・数列や漸化式，数学的帰納法の基本的な概念を理解し，知識を身につける。 ・数列の規則をみつけ，その一般項や和を求めたり，数学的帰納法を利用して式を証明したりすることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・事象を数列や数学的帰納法を利用して考察し，その規則性を見つけたりすることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・事象を数列の考えを用いて考察する良さを認識し、問題解決にそれらを活用しようとしたり、粘り強く考えたりすること。	指導事項 ・等差数列、等比数列、その和 ・階差数列、いろいろな数列の和 ・漸化式、数学的帰納法 教材 ・教科書 ・問題集 ・プリント	【知識及び技能】 ・数列の規則をみつけ，その一般項や和を求めたり，数学的帰納法を利用して式を証明したりすることができる。 ・数列や漸化式，数学的帰納法の基本的な概念を理解し，知識を身につけている。 【思考力、判断力、表現力等】 ・事象を数列や数学的帰納法を利用して考察し，その規則性を見つけたりすることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・数列とその和及び漸化式と数学的帰納法に関心をもつとともに，その有用性を認識し，事象の考察に活用しようとする。	○	○	○	29
	定期考査			○	○		1
	定期考査			○	○		1
	定期考査			○	○		1
2学期後半＋3学期	統計的な推測 【知識及び技能】 ・確率分布や統計的な推測の基本的な概念，性質などを体系的に理解し，知識を身につける。 ・事象の考察において，確率分布や統計的な推測を用いて処理する技能を身につける。 【思考力、判断力、表現力等】 ・事象の考察において，確率分布や統計的な推測を通した見方や考え方を身につける。 【学びに向かう力、人間性等】 ・事象を統計的な推測の考えを用いて考察する良さを認識し、問題解決にそれらを活用しようとしたり、粘り強く考えたりすること。	指導事項 ・確率変数と確率分布 ・期待値、分散 ・二項分布、正規分布 ・母集団と標本 ・推定、仮説検定 教材 ・教科書 ・問題集 ・プリント	【知識及び技能】 ・事象の考察において，確率分布や統計的な推測を用いて処理する技能を身につけている。 ・確率分布や統計的な推測の基本的な概念，性質などを体系的に理解し，知識を身につけている。 【思考力、判断力、表現力等】 ・事象の考察において，確率分布や統計的な推測を通した見方や考え方を身につけている。 【学びに向かう力、人間性等】 ・事象の考察に確率分布や統計的な推測を活用しようとする。	○	○	○	36
	定期考査			○	○		1
	定期考査			○	○		1 合計 70